

F.C.G.  A.L.

SINCE 1972

the 50th Anniversary

挨拶 F.C.ゴール創設 50 周年を迎える記念にあたって

F.C. ゴール 創設 50 周年を迎えるにあたって関係者の皆様方おめでとうございます。

50 年前の日本サッカー会も記念すべき日でありました。

天皇杯全日本選手権のオープン化

第 1 回 日韓定期戦がスタート

JSL(現 JFL)リーグ 2 部がスタート

世界ではミュンヘンオリンピック開催(サッカーではポーランドが優勝)

まさに、日本サッカー会と共に歩んできた、50 年間だと思います。

私に至っては、50 年前は、まだ高校生でありました。大学 1 年時(1973 年)の名城大 1 年生の時に、副会長の佐藤雄二氏と共に、夜の鶴舞グラウンドに練習参加しその後 F.C.ゴールに入部する経緯でありました。

その 50 年経った今、現在は OB 会会長として、F.C.ゴールを支援する大変有難い役職を担わせて頂いております。

合わせて諸先輩方々、後輩の若手選手が残した記録を出来る限り収集し、

今回の F.C.ゴール 50 年史を発行する事となりました。

今後の 55 年史、60 年史を磨き上げるのは、現役選手しか出来ない事で有ります。

その為のサポート役として、今後より一層の環境作りに努めて参りたい所存でございます。

F.C. ゴール OB 会 会長 大元 雅道

祝辞 FC ゴール創設 50 周年を迎えて

F.C.ゴールは 50 年前 1972 年に創設され、1974 年より愛知県社会人サッカーリーグに所属。

県リーグ 2 部に昇格した 1979 年、昇格初年度で優勝を果たすと、翌 1980 年には県リーグ 1 部でも優勝。

その後も安定した成績を残す。

2000 年、第 7 回全国クラブチームサッカー選手権大会に初出場。地元開催となった翌 2001 年の第 8 回大会にも連続出場し、ベスト 4 の成績を残す。全国クラブチームサッカー選手権には

2012 年の第 19 回大会も出場している。

2017 年に県リーグ 1 部で 9 度目の優勝を果たすと、東海社会人サッカートーナメント大会では B ブロック決勝で岳南 F モスペリオを PK 戦で下して優勝。

2018 年より東海社会人サッカーリーグ 2 部に昇格したが、

14 試合でわずか 1 勝に終わり 1 年で県リーグに降格となった。

リーグ戦以外の主な戦績として、1979 年第 12 回全国スポーツ祭典優勝、

1982 年第 4 回愛知県社会人選手権優勝などが挙げられる。

50 年もの長い間 F.C.ゴールが戦い続けられるのは、

一重に OB 諸氏を含め現役の選手の家族の理解と協力があつてこそだと思います。

今後も全ての関係者の方々に感謝して、OB 諸氏のお力添えを頂き

F.C.ゴールを次の 50 年後まで続けてと欲しいと思います。

創始者 坂野公一 2022 年 11 月 吉日

挨拶 FC ゴール創部 50 周年を迎えて

祝 FC ゴール創部 50 周年

FC ゴールトップチームは、東海リーグ昇格を目標に、日々練習に励んでいます。今年のリーグ戦は 1.5 回戦で行われましたが、あと一步の所で上位リーグに残れず、悔しい思いをしました。

来年は勝ち点の取りこぼしがないように、勝ちにこだわって戦い、東海リーグ昇格に向けて努力したいと思います。

チームを強くする為には、練習場所の確保や試合相手、新しい選手を見つけることが課題となっておりますので、OB の方々及び関係者の皆様には引き続きご支援ご協力の方宜しく申し上げます。

FC ゴール 監督 高橋 寿宗 2022 年 11 月吉日

ご挨拶 F.C.ゴール創立 50 周年を迎えて

F.C.ゴール創立 50 周年 誠におめでとうございます。

この輝かしい節目の年に関わっていただける事に感謝し慶びを共に分かち合いたいと思います。

私は今から 30 年前 F.C.ゴールの一員となり、ジュニアユースのコーチを経て 25 年前に県社会人 1 部リーグの幹事を任されました。各チームの希望を聞いての日程調整や新聞社への配信等で大変な時もありましたが貴重な経験でした。トップチームの数々の功績もこの目で見てきました。

20 年前にシニアを桑名さんが立ち上げ、大元さんが引き継ぎ、5 年前に私が引き継ぎ今に至ります。

チームも Over35 林庄三監督、Over40 青山隆二監督の 2 チームになりました。今後は Over50 も 2.3 年後に県シニアリーグに参戦する予定です。もしかすると 60、70 とチームを作る時が来るかもしれません。

半世紀もの長い間 F.C.ゴールが戦い続けられたのは、現役選手はもちろんのこと、その家族の理解と協力、OB 諸氏の支えがあってからこそだと思います。

全ての関係者の方に感謝し、お力添えを頂きながら、F.C.ゴールの増々の御発展を祈っております。

令和4年 11 月吉日

F.C.ゴール シニア代表 堂国隆一

祝 F.C.ゴール創部 50 周年！

現在 F.C.ゴールに携わって頂いている OB、スタッフ、選手、関係者全ての方々及びこの 50 年間の間にほんのわずかでも関わってくれた全ての方々に心から深く感謝申し上げます。

自分自身は約 27 年前、大学を卒業した社会人 1 年目に F.C.ゴールに選手として入団し、その後は 5 シーズンにわたり選手兼任監督としても過ごさせてもらいました。

間違いなく、この F.C.ゴールというサッカーチームに属する事が出来たおかげで

現在まで大好きなサッカーを続けることが出来ていると思いますし、

沢山の人たちと繋がる事が出来たことによってより充実した人生が送れているということも実感しています。

現在の F.C.ゴールは、トップチームでは 4 年前に 1 度だけ東海リーグ(2 部)に昇格を果たしたものの

翌年県リーグに降格し今シーズンも 6 位という成績に終わり鳴かず飛ばずの状況に留まっている状況です。

シニアチームの方は、OB の方々の支えもあり OV35、OV40 共に着実に力をつけて来ており、

それぞれ高い目標を持ってチーム作りが実行されており今後の発展が大いに期待出来る状態にあると感じています。

今回の創部 50 周年の節目にあたり、今後の F.C.ゴールの方向性について考えました。

第一には創始者である坂野さんの意思を継ぎ F.C.ゴールの火を永遠に灯し続ける事が

最低限であり最大限の使命であると自分は思います。

その為に、トップチームを組織の頂上に置きトップチーム→シニアチームOV35→シニアチームOV40という

流れを強くし、今までは現役を退くと F.C.ゴールからも離れてしまう選手がほとんどでしたが、

新しい流れでは永きに渡り共に汗を掻き、歓喜を分かち合い選手として

F.C.ゴールに関わりながら OB としてもトップチームを支えて行くという好循環を作りたいと考えています。

次の 50 年に向けて・・・

F.C.ゴールの更なる発展の為に私自身精一杯頑張って行きますので、

OB の方々及びご関係者の皆様には引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和 4 年 11 月吉日

F.C.ゴール代表 青原直輝

F.C.GOAL50年史

シーズン	年度		沿革	全国・県大会 (主要成績のみ)			愛知県リーグ			市民スポーツ祭			監督		備考		
				大会名	成績	戦績	ブロック	成績	戦績	回	成績	戦績					
1	1972年	昭和47年	F.C.GOAL 創部										1代目	広瀬 惟紘			
2	1973年	昭和48年	企画・準備 明治屋サッカー部と合同活動														
3	1974年	昭和49年	明治屋サッカー部 県リーグ3部Fブロック														
4	1975年	昭和50年					3部Eブロック	準優勝	4勝2敗2分								
5	1976年	昭和51年		第11回全国スポーツ祭典 (駒沢球技場)	優勝	決勝戦 2-1 昭和ドランクス (四国代表)	3部Dブロック	準優勝	5勝2敗2分								3部Cブロック昇格トーナメント 2位 2部挑戦トーナメント 1回戦敗退
6	1977年	昭和52年		第2回全国サッカー大会 (神戸中央球技場)	準優勝	決勝戦 1-2 兵庫選抜	3部Cブロック	準優勝	7勝1敗								
7	1978年	昭和53年		第12回全国スポーツ祭典 (駒沢球技場)	優勝	決勝戦 1-1延長3-0 サンデーキッカーズ(東京)	3部Bブロック	優勝	9勝1分	第20回	優勝	決勝戦 4-2 サンデーキッカーズ					
8	1979年	昭和54年		第1回愛知県社会人選手権 第3回全国サッカー大会 (京都下鳥羽球技場)	4位	準決勝戦 1-8 名古屋クラブ 3位決定戦 0-5 マルヤス工業 1回戦敗退 4-5 ツイストサッカークラブ(兵庫)	2部	優勝	10勝3敗 1部リーグ昇格						2部挑戦トーナメント 1位 決勝戦 5-0 若葉クラブ 2部入替戦 3-1 三菱自工岡崎 2部リーグ昇格		
9	1980年	昭和55年		東海社会人トーナメント大会 第2回愛知県社会人選手権 第1回全国選抜サッカー大会 (大宮サッカー場)	3位 4位 優勝	準決勝 1-1延長0-2 エーザイ(岐阜2位) 3位決定戦 3-0 青山クラブ(三重1位) 準決勝戦 1-2 名古屋クラブ 3位決定戦 1-1PK4-5 ミノルタカメラ 決勝戦 7-1 セイコー化工機(兵庫)	1部	優勝	10勝4敗								
10	1981年	昭和56年		東海社会人トーナメント大会 第3回愛知県社会人選手権		1回戦敗退 1-2 上野スポーツマンクラブ(三重) 準決勝戦 1-3 ミノルタカメラ 3位決定戦 2-1 電々名古屋	1部	準優勝	7勝3敗3分								
11	1982年	昭和57年		東海社会人トーナメント大会 第4回愛知県社会人選手権 第18回全国社会人 選手権大会東海予選 第62回天皇杯全日本 サッカー選手権東海地域大会		準決勝敗退 2-4 JATCO(静岡2位) 優勝 決勝戦 2-1 マルヤス工業 決勝戦敗退 1-2 静岡ガス 1回戦敗退 1-3 中京大学	1部	優勝	11勝3敗				2代目	坂野 公一			
12	1983年	昭和58年		東海社会人トーナメント大会		1回戦敗退 0-2 三井プロケカル(静岡1位)	1部	準優勝	9勝4敗1分								
13	1984年	昭和59年					1部	7位	6勝6敗1分	第26回	優勝	決勝戦 2-2 PK8-7 電々名古屋					
14	1985年	昭和60年		東海社会人トーナメント大会		1回戦敗退 0-4 清水クラブ(静岡1位)	1部	準優勝	8勝4敗1分								
15	1986年	昭和61年					1部	8位	4勝7敗2分								1部リーグ入替戦 2-0 アイシン精機 1部リーグ残留
16	1987年	昭和62年					1部	8位	6勝7敗2分	第29回		準決勝敗退 1-2 名古屋クラブ					
17	1988年	昭和63年					1部	4位	7勝6敗3分	第30回	準優勝	決勝戦 1-2 名大クラブ					
18	1989年	平成元年					1部	7位	7勝4敗5分	第31回	準優勝	決勝戦 1-2 マツダオート名古屋					
19	1990年	平成 2年	F.C.GOLD 創部	第18回全国スポーツ祭典 (神戸磯上球技場)		準決勝敗退 0-0PK3-4 宮代FC(埼玉)	1部	11位	3勝10敗3分								
20	1991年	平成 3年	F.C.GOAL ユース創部	第9回全国サッカー大会 (大阪服部緑地公園)		準決勝敗退 0-0PK1-3 南クラブ(香川)	1部	7位	7勝7敗2分								
21	1992年	平成 4年		東海社会人トーナメント大会 第19回全国スポーツ祭典 (神奈川県立体育センター)		決勝戦敗退 0-5 富士通沼津(静岡1位) 準決勝敗退 1-1 PK2-4 FCサンデー(東京)	1部	優勝	10勝1敗5分				3代目	松永 泰雄			
22	1993年	平成 5年		第10回全国サッカー大会 (神奈川県立体育センター)		1回戦敗退 0-1 FCユニティ(東京)	1部	4位	7勝5敗4分	第35回		準決勝敗退 1-1PK0-1 愛知朝鮮蹴球団					
23	1994年	平成 6年					1部	3位	10勝3敗4分				4代目	佐藤 雄二			
24	1995年	平成 7年	F.C.GOAL Jr.ユース創部	第11回全国サッカー大会 (鹿島かわたけサッカー場)		準決勝敗退 0-3 FCサンデー(東京)	1部	12位	4勝10敗2分	第37回	準優勝	決勝戦 1-4 名古屋クラブ					2部リーグ降格
25	1996年	平成 8年	F.C.GOAL OB会発足	トヨタチャレンジカップ '96		2回戦敗退 1-3 尾張クラブ	2部	優勝	11勝3敗2分				5代目	竹内 孝幸	1部リーグ復帰		
26	1997年	平成 9年		トヨタチャレンジカップ '97		決勝戦敗退 1-1PK1-3 春日井クラブ	1部	6位	6勝7敗3分	第39回	優勝	決勝戦 名古屋コスモス					

